



室内用補助手すりの取扱説明

製品の機能が十分に発揮される様、正しく取付けて下さい。



注意

- 注意事項を無視して誤った取扱いをすると、重大な結果（傷害・物的損害）に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- ブラケット・手すり用丸棒・ブラケットベース等は当社製品をご使用下さい。
- 他社製品との組合せは強度不足を招くことがありますのでご注意下さい。



注意

安全上の注意

- ぶら下がったり、上に乗ったり、強く押し引きするなど、故意に強い衝撃を与えた場合、手すりの破損・壁面から抜け落ちる恐れがあります。万が一、手すりにガタツキが出た場合は、直ちに使用を止め、取付業者または販売店にご連絡下さい。
- 屋外や浴室などの、水が掛かったり湿気が多い場所には設置しないでください。また、下地及び製品を水に濡らさないでください。部材が腐食することで製品及び手すりが脱落する恐れがあります。
- 手すり取り付けビス等が緩んでくる場合がありますので、緩んだ場合はドライバー等でしっかり締めなおして下さい。



注意

施工上の注意

- 手すりの取付けは、下地の強度や状態が確認できない場合には施工しないで下さい。取付が不安定になることで手すりが抜け落ちる恐れがあります。施工時には、必ず平らで堅固な下地に市販の壁面センサーやプッシュ式針等を使い構造体（柱・間柱・胴縁）に附属取付ネジを用いて確実に取付けて下さい。
- 壁全体に強度がない場合（石こうボード壁・在来壁・コンパネ壁など）は、補強材等を柱・間柱・胴縁に固定して、その補強材に附属取付ネジを用いて確実に取付けて下さい。

取扱い上の注意

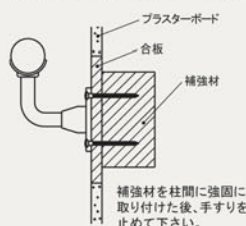
- 製品に硬い物や重たい物、鋭利な物をぶつけたり、落とさないで下さい。製品が傷ついたり破損する恐れがあります。
- 長尺物につきましては、雨水のかからない、水平な場所に保管して下さい。立てかけたままでの保管は、反り・変形の原因となりブラケットが通らなくなる原因になる恐れがあります。

お手入れ方法

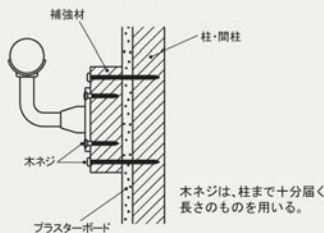
- 通常のお手入れは、きれいな柔らかい布でから拭きするか、固く絞った布で水拭きして下さい。汚れがひどい際は、中性洗剤をしみこませた柔らかい布で拭き、その後、水拭きしてから乾いた布で、水分は完全に拭き取って下さい。
- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし等を使ってのお手入れは、色あせ・キズなどの原因になりますのでおやめ下さい。
- 酸性・アルカリ性洗剤または薬品（消毒液・防錆剤など）は、変色・割れ等を発生する原因となりますので使用しないで下さい。

【手すり取付けについて】

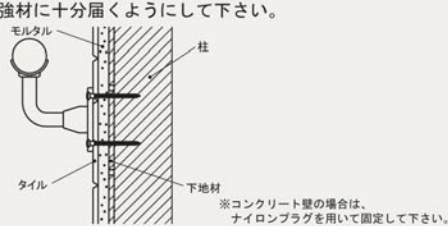
○下地に補強材を入れて下さい。



○表側に補強材を入れて下さい。



○タイルの場合、木ネジは柱もしくは補強材に十分届くようにして下さい。



【ブラケット取付け間隔について】

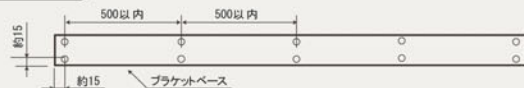


【ブラケットベースについて】



※ベース材の割れ防止の為に、取付ビス用下穴加工を行って下さい。

取付穴位置目安



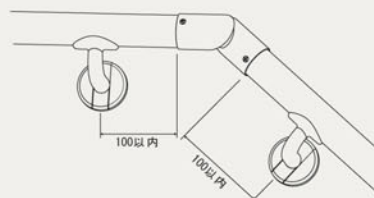
- ① 手すり設置場所の壁裏の柱の位置及び状態を確認し、使用するベース材の長さ・取付けネジの位置を決めます。
- ② ベース材を必要な長さに切断します。切断面にバリや角が出た場合は、紙ヤスリ等でなめらかに仕上げて下さい。（別売にて端部用ブラケットベースキャップもと取り揃えております。）
- ③ ベース材にガタツキがないか確認してください。ベース材と壁面との間にもガタツキがないかチェックし、ガタツキがあれば補修してください。その上に手すりをしっかりと取付けてください。

【標準下穴寸法】

A3	タッピンネジ	φ2.0
A3.5	タッピンネジ	φ2.5
A4	タッピンネジ	φ3.0
A6	タッピンネジ	φ4.0
6×30	ナイロンプラグ	下穴φ6
8×40	ナイロンプラグ	下穴φ8

【自在ジョイントについて】

※自在ジョイントは、丸棒を壁面（ブラケット）に固定する前にコーナー部の角度やセンターに合わせて取付けて下さい。



※自在ジョイントの両端から100 ミリ以内の位置に、必ずブラケットを堅固な壁面に設けて下さい。手すりが外れたり折れてしまうことで、けがや重大事故につながる恐れがあります。

※介護保険制度では、住宅改修が必要と認められた在宅の要介護者・要支援者に対して住宅改修費が支給されます。詳しくは、お近くの介護支援専門員または各自治体の地域包括支援センター等の介護保険相談窓口にお問い合わせ下さい。

